

# 受け継ぎ、そして次へ繋いでいく 伝統の獅子舞

## 三寺

地域の絆とともに受け継がれていく

年の瀬が近づく12月、三寺町公民館では、正月に披露される獅子舞の練習が大詰めを迎えていました。獅子頭をかぶって舞う御頭役の若者、子役の小学生、笛を吹く人・太鼓を叩く人、周りで指導に当たる年配の人など、地域のあらゆる世代の人々が熱心に取り組み、地域の絆を感じさせる光景がありました。また、裏方として、世代男女を問わず地域の皆さんが準備などに携わっているとのことで、まさに地域一体となって獅子舞が執り行われています。

「一番下(子役以外)は、高校生が太鼓の役として参加してくれる。若い子が加わると活気があって嬉しい」と、自治会長はお話をされます。きっと世代を問わず、伝統・地域を思いやる心が三寺に根付いているのでしょう。そして、これからも地域の絆とともに獅子舞は、次の世代へと受け継がれていくことなのでしょう。



「小さい頃から地域で取り組む獅子舞を見てきたので、自然と参加するようになった」、「後継者不足などの課題もあるが、途絶えてしまうのは寂しいので、できる限りお手伝いしていきたい」と、御頭役の松井さんと前田さん。



「獅子舞の練習に来ると、友達や地域の色々な人とお話しできるので楽しい」、「将来は、友達と一緒に、獅子頭をかぶって舞う御頭役や、笛・太鼓の役などもやってみたい」と、子役の国分さんと丸橋くん。



## 三寺の獅子舞

鎌倉時代から続いていると地元では伝えられていて、昭和31年に市の無形民俗文化財に指定。現在は、三寺町獅子舞保存会や三寺町自治会などの皆さんにより伝承されています。

獅子舞の構成は3部からなっています。『四半舞』は儀式で、四方を浄める「四方舞」などを舞います。『後半舞』は、ゆったりと静かに舞う「女舞」などを舞います。『後半舞』は、獅子と口取(子役)による扇の取り合いで、花竹に風呂敷、手ぬぐい、花吹雪などをつけて、その下で多彩な舞を行います。

とき(平成30年) 1月1日(祝) 午後1時～  
1月2日(火) 午後1時～

ところ 三寺町公民館

獅子舞は、家内安全や無病息災、五穀豊穡などを祈る神事として、全国各地で行われています。

亀山市でも、三寺と布気の獅子舞(市の無形民俗文化財に指定)は、3年に一度、干支でいうと「丑・辰・未・戌」の年に実施され、今年のお正月が舞年となっています。

どちらの獅子舞も先人たちから脈々と大切に受け継がれてきました。そこには、地域の絆、世代間の繋がりが、伝承していくための熱意やたゆまぬ努力を感じずにはられません。そして、現代を生きる人々も、生活スタイルの変化、後継者不足などの課題もあるなかで、懸命に次の世代へ繋げようとしています。



# 布気

世代間の繋がりが次の世代を導く

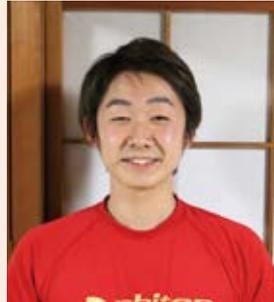
布気の獅子舞の練習は、獅子や周りにいる人たちに敬意を払い、礼に始まり礼に終わります。練習中は、獅子頭をかぶって舞う御頭役の若者、子役の小学生などが年上の者(師匠)に助言を仰ぎ、一方で、先輩が新人に丁寧に指導する場面が幾度も見受けられました。「獅子舞の伝承とともに、世代間と地域の方々との繋がりを大切にしている」と、自治会長がお話をされた内容を感じさせる光景でした。

また、世代間の繋がりは、親子間にも見られ、親子2代または3代にわたって、獅子舞に従事している家族も多くあるそうです。

口伝えの獅子舞は、舞の手本や笛・太鼓の楽譜はありません。きっと世代間の繋がりがあってこそ受け継がれてきたものなのでしょう。そしてこれからも、お互いを敬いながら、次の世代が「いつかは自分たちも獅子舞を」と思える関係が続いていってほしいものです。



「年上の方々の丁寧な指導があったからこそ、獅子舞の魅力に触れ、貴重な経験をさせていただいている。今度は、次の世代にとっての手本となれるよう、懸命に取り組む姿をみせたい」と、御頭役の佐野さん。



「子どもの頃に、父親が御頭役として獅子頭をかぶって舞っていた姿を覚えている。今回、同じ御頭役を務めさせていただくことになり、時の流れを感じるとともに、私もしっかりと役目を果たしたい」と仲野さん。

## 布気の獅子舞

江戸時代から続いていると伝えられていて、昭和31年に市の無形民俗文化財に指定。現在は、布気町野尻地区の自治会などの皆さんにより伝承されています。

舞の種類は、四方を舞い清める『四方舞』、勇壮に舞う『乱曲』、ゆったりと舞う『花の舞』があります。

### とき・ところ(平成30年)

- 1月1日(祝)…午前10時30分(布気皇舘太神社境内)  
午後2時30分(落針地区公民館)
- 1月2日(火)…午前10時(道野地区公民館)  
午後1時30分(太岡寺地区公民館)  
午後4時30分(小野地区公民館)
- 1月3日(水)…午前10時30分(木下地区公民館)  
午後1時(山下地区集会所)  
午後8時(布気皇舘太神社境内)

